

第2回 西成区教育行政連絡会 議事要旨

1 日 時

令和7年8月28日（木） 午前10時00分～午後11時30分

2 場 所

西成区役所 4階 4－7会議室

3 出席者

(1) 区役所

区長兼区シティマネージャー兼教育委員会事務局区担当教育次長、副区長兼教育委員会事務局西成区教育担当理事、保健福祉担当部長、市民協働課長、窓口サービス課長、子育て支援担当課長兼教育委員会事務局西成区教育担当課長

(2) 中学校

天下茶屋中学校長、今宮中学校長（新今宮小学校長兼務）、成南中学校教頭、鶴見橋中学校長、玉出中学校長

(3) 小学校

天下茶屋小学校長、岸里小学校長、玉出小学校長、千本小学校長、長橋小学校長、北津守小学校長、南津守小学校長、新今宮小学校長、（今宮中学校長兼務）

4 議事要旨

○ 令和7年度 西成区こども・教育関連事業の実施について

【説明要旨】

資料2～5に基づき、令和7年度西成区こども・教育関連事業の実施について、子育て支援担当課長より説明を行った。

《西成区こども生活・まなびサポート事業》

・「不登校の実質ゼロ」を目指すため、サポートが必要な児童生徒に対して学びの場の定着につなげるために寄り添い型の支援を行う支援員（区登校・見守り支援員や居場所支援員、学習姿勢向上支援員）及びサポーター（有償ボランティア）を各学校に配置している。

・進捗状況については、4月から各支援員を順次配置し、学校ごとの状況に応じた活動を行っている。

・6月10日と12日には新任の学習姿勢向上支援員の配置校である長橋小学校と新今宮小学校の活動状況の確認を行い、支援員による個別対応により担任の先生が特定の児童に手を取られることなく、全体の授業進行が円滑に行えるようになりつつあるとの意見をいただいている。

・7月31日に各支援員向け全体集合研修を実施し、好事例の共有など今後の活動に活かす取組を行った。今後は、各学期末に研修や不登校に関する調査等を実施予定である。

《外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業》

・日本語での日常会話はできるが、学習言語が定着しておらず課題のある小学校4年生から中学校3年生までの外国につながる児童生徒を対象に、学習支援を行い、学力の向上を図ることをめざしている。

・進捗状況については、5月上旬から授業を開始し、7月末時点で定員36名に対して、27名（小学生20名・中学生7名）が参加しており、その約6割が昨年度からの継続受講者となっている。

・受講者の学力に応じて、講師1名が受講者1～2名に対して「やさしい日本語」で個別指導を行っており、各教室での授業は概ね問題なく進行している。

《学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業》

・区内全中学校で模擬テストを実施し、生徒の苦手分野を把握して、苦手分野を反復演習し、個人及び学校全体の学力の底上げを図ることをめざしている。

・進捗状況については、5月末から6月2日までに中学3年生452名中385名が模擬テストを受験した結果、西成区の平均正答率は5教科全てで全国平均を下回ったが、英語と数学で1校ずつ全国平均を上回った。7月4日には、生徒ごとにテスト結果と模擬テストと同様の単元を復習できる演習問題のリンク集を配布し、苦手分野の学習を促している。

・生徒の学習状況については、デジタルドリルの既習管理機能で把握でき、教員から取組が進んでいない生徒に声かけをしていただき、演習問題を終わらせてから9月2日のチャレンジテストに臨んでいただきたい。

・今後のスケジュールについては、9月2日に中学3年生のチャレンジテストが実施され、中学1・2年生は12月頃に模擬テストを予定している。中学1・2年生のテスト結果の返却が2月2日となりチャレンジテスト後となるため、模擬テスト終了時に演習問題の二次元コードリンク集を配布するので、模擬テストの復習として演習問題に取り組んでいただきたい。取組が進んでいない生徒に声かけをしていただき、取り組んでから1月14日のチャレンジテストに臨んでいただけるようご協力いただきたい。

《発展型学習支援事業》

・家庭の経済状況にかかわらず本人が志望する高等学校へ進学できるように成績中上位層の学習意欲のある児童生徒に対し無料で発展的な内容の学習機会を提供することによって、さらなる学力向上を図ることをめざしている。

・進捗状況については、4月に受講者募集を行い、小学生75名・中学生42名が申し込み、入塾テストの結果、小学生45名・中学生21名が合格し、5月より事業を開始している。7月の追加募集では、小学生19名・中学生18名の申し込みがあり、入塾テストの結果、小学生18名・中学生13名が合格した。7月時点での受講者合計は、小学生60名、中学生33名（途中退塾者1名を差し引き）となっている。また、夏休み期間中に中学3年生については集中講座として理科、社会の授業も実施した。

・スケジュールについては、9月に最終受講者募集を実施し、10月・12月・2月に実力テストを行い、効果検証を進めていく。本事業はまだ開始2年目で認知度が低いため、年度末に次年度の事前周知を行う予定である。

《西成区基礎学力アップ事業（西成まなび塾）》

・区内の小学校5・6年生及び中学生に対し、小中学校校舎等の公共施設を活用した塾等事業者による課外授業を実施している。

・進捗状況については、6月末時点での受講者数は、小学校5・6年生が12名、中学生が68名となっている。5月2日に北津守小学校で体験会を実施し、5年生3名が新たに入塾した。

・今後のスケジュールについては、9月以降に再度体験会を実施し、習い事・塾代助成カードが配布される12月には次年度の事前周知を行う予定である。

《基礎学力向上支援事業（西成ジャガピースクール）》

・区内の小学校3・4年生に対し、夏休みや冬休み、平日の放課後を利用し、区内全小学校で塾等の事業者による課外授業を実施している。

・進捗状況については、4月30日から5月16日に、区内全小学校の3年生児童を対象に、学校の授業時間を使って体験会を実施した。

・5月から6月の前期募集では192名が参加し、追加募集でさらに12名が参加、6月下旬の後期募集では新たに18名参加いただくこととなった。現在も申込み方法の問い合わせ等があることから、申込は8月末まで受け付けている。岸里小学校については、後期授業が12月開始のため、後期募集は10月頃を予定している。

・今後のスケジュールについては、事業効果の測定のため、9月と2月に実力テストを実施する予定である。

《学習支援サービス（マイクロステップ・スタディ）》

・岡山大学が中心となり開発したeラーニングサービスを活用し、教育委員会と連携し

て、生野未来学園、北津守小学校、西成区では北津守小学校で実施している。

・進捗状況については、5月から、北津守小学校の3年生から6年生を対象に、学校のタブレットを活用して1日5～10分の学習活動を週4日以上取り組んでいただいております、岡山大学によれば、子どもたちは昨年度よりも積極的に取り組むようになっているという報告を受けている。

《プレーパーク事業》

・従来のこどもの居場所機能を果たすプレイス型と学習に繋がるイベントを実施する体験型の2つの形態で実施している。

・進捗状況については、プレイス型は令和7年6月末までに16日開催し、平均来場者数は61名となっている。5月31日のこども元気まつりとの同時開催では合計234名に来場いただいた。

・体験型は7月に2日間実施し、玉出小学校で96名、橘小学校で75名の児童・未就学児に参加いただいた。今後も各所で引き続き実施する予定である。

・区制100周年記念イベントとして、11月16日の区民まつり開催日に、理科実験ショーやワークショップ、遊び場スペースなどの子ども向けイベントを同時開催する予定としており、現在、開催に向けて事業者と調整中である。

《西成区こどもの読書活動推進支援事業》

・読書のきっかけづくりとして、年間の読量冊数に応じて、賞状を贈呈する事業で、今年度からは未就学児にも対象を広げ、保護者が家庭での絵本の読み聞かせに取り組んだ場合も表彰の対象としている。

・進捗状況については、各保育所、幼稚園、学校に読書カードやよみきかせカードを配布し、4月から翌年1月までの期間で取組を実施していただいている。年明け1～2月頃に報告書の提出を依頼し、目標達成者については、区長が希望校に直接訪問して表彰する予定である。

《キャリア教育推進支援事業》

・区内中学生を対象に大阪市が連携協定を締結しているプロスポーツチームのゲストティーチャーによる出前授業を行う事業で、1年間で3校実施し、2年間かけて全中学校で実施している。

・進捗状況については、7月7日に成南中学校でサントリーサンバース大阪、7月10日に今宮中学校でオリックスバファローズを招いてイベント実施した。さらに、9月26日に鶴見橋中学校でサントリーサンバース大阪を招いて実施する予定である。

《大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業》

・西成区を拠点に活動する大阪フィルハーモニー交響楽団による出前授業を小中学校を対象に実施しており、2年間かけて全小中学校で実施している。

・進捗状況については、全8校で実施済みである。9月13日（土）に西成オーケストラ鑑賞会2025を定員300名で開催予定である。申込みは行政オンラインシステムで8月31日まで受付中である。定員まで少し余裕があるため、31日以降も区役所への連絡で申込が可能であるため、興味のある児童生徒への案内にご協力いただきたい。

《西成しごと博物館》

・大阪府中小企業家同友会西成・住之江支部と共同で実施しており、区内企業にブースを出展していただき、子どもたちにどんな仕事をしているのか見学や体験をしていただく毎年好評いただいているイベントである。

・進捗状況については、今年度は11月9日（日）に区民センターで実施する予定で、現在内容について調整中である。

《帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業》

・帰国・来日等で学校生活において日本の生活習慣等に支援が必要な児童生徒に対し、寄り添い支援を行うサポーター（有償ボランティア）を配置している。

・進捗状況については、7月末時点で活動中のサポーターは17名、全校の活動実績は合計752時間となっている。

《小・中学校サポーター登録事業》

・帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーターや区低学年サポーター（こども生活・まなびサポート事業）も含めて、学校で幅広い分野で活動していただけるサポーターを募集しており、区役所等で募集登録を行い、各学校へ紹介している。

・今年度7月末までに学校に紹介して活動に繋がったサポーターは、区低学年サポーター2名、帰国来日等のコミュニケーションサポーター10名となっている。これらを含め、現在活動中のサポーターは区低学年サポーターが33名、帰国来日等のこどものコミュニケーションサポーターが17名である。

【各学校からの主な意見・質問】

《キャリア教育推進支援事業》

・成南中学校では、西成区キャリア教育推進支援事業の一環として、サントリーサンバーズのアシスタントコーチに来校いただき、1・2年生向けに有意義な講演と女子バレーボール部への指導をしていただいた。スポーツや学習面においても子どもたちにとって非常にためになった。また、夏休みに開催されたビーチバレーボール大会全国大会では3位に

入賞する成果もあった。

《西成区こども生活・まなびサポート事業》

・今宮中学校では2年生から9年生の児童生徒が学習ルーム（校内適応指導教室）を利用し、利用者数及び教室に戻れるようになる児童生徒数が増加しており、不登校や別室登校の児童生徒に対して非常に有効な施策である。基本的には、教職員と居場所支援員の最低2名体制で管理し、個別ブースや共用机を活用しながら、子どもに合った学びの場を提供している。一方で、支援員と教職員の支援方針にずれが生じることや、支援員と子どもの関係構築に時間がかかるといった課題もあるが、支援員が長期間継続して配置されることで、より成果が期待できると思われる。

・学習ルームのような居場所づくりが全市的に進む中で、鶴見橋中学校でも今年度から構築を検討しているが、設備面でまだ課題があるため、整備のための予算面での支援があるのかどうかを知りたい。また、城東区の学校に勤務をしていた際に、同様の予算措置を講ずる施策があり不登校の改善に繋がった経緯があったので、こうした施策が今後さらに各校で広がっていくことを期待している。

【主な意見・質問に対する回答】

・昨年度1年間限定であったが、各学校に居場所づくりで活用できる物品等の購入費用として予算をつけており、それぞれの学校にご照会を行い、ご希望の物品を購入のうえ納品させていただいた実績がある。

○ 令和7年度 実施事業に関する区役所からの連絡事項

【説明要旨】

資料6に基づき、令和7年度実施事業に関する区役所からの連絡事項について、区長より説明を行った。

《学校園における周知文書等の配付における取扱いについて》

・6月20日付けで教育委員会事務局から学校園あてに発出された事務連絡で、教員の更なる負担軽減を目的として、イベント等のチラシ類について、今後は市ホームページでデータ掲載する運用方法に変更するという内容である。教員の働き方改革の推進するうえで、必要な取扱いと考えている。西成区役所も例外なく広報誌やホームページ、SNSの更なる活用等で周知する方法に見直しを指示しているが、必要な情報が児童生徒や保護者に行き届かず、中には児童生徒自身に不利益が生じてしまうものもあるのではないかと危惧しており、区役所において一定の精査を行ったうえで、これは必要というものについて

は必要最低限度の範囲において、引き続きチラシの個別配付をお願いしたいと考えている。特に、この教育行政連絡会のプロジェクトチームにおいて構築している特区関連の教育事業等は、区として重要であると考えているため、必ず児童生徒に情報が行き届く必要がある。二学期以降も、必要な情報に関してはチラシ配付を継続したいと考えており、校長先生方や学校園からもご意見・実情を伺いながら、今後も継続して検討していく予定である。

【主な意見・質問】

・なし